

## 安全データシート

作成日：2023年 3月27日

改訂日：2023年12月20日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 わさびデュール

供給者の会社名 株式会社ヴァレオジャパン  
 住所 埼玉県熊谷市千代3 9 番地  
 電話番号 048-539-3800  
 推奨用途及び使用上の制限 抗菌剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性 可燃性固体 区分に該当しない  
 自然発火性固体 区分に該当しない

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4  
 急性毒性(経皮) 区分2  
 皮膚腐食性/刺激性 区分2  
 皮膚感作性 区分1  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓、腎臓、膀胱)

環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分1  
 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1  
 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険  
 危険有害性情報

飲み込むと有害  
 皮膚に接触すると生命に危険  
 皮膚刺激  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、腎臓、膀胱の障害のおそれ  
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き  
 安全対策

保護手袋、保護衣を着用すること。  
 ヒュームを吸入しないこと。  
 眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。

応急措置

皮膚に付着した場合、汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹸で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。医師に連絡すること。

保管  
廃棄

漏出物は回収すること。  
施錠して保管すること。  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
イソチオシアン酸アリル	29.9%	C <sub>4</sub> H <sub>5</sub> NS	(2)-1689	既存	57-06-7
パラフィンワックス	2.1%	C <sub>n</sub> H <sub>2n+2</sub>	(8)-414	既存	63231-60-7
	0.9%	C <sub>n</sub> H <sub>2n+2</sub>	(8)-430	既存	8002-74-2
変性ロジンエステル	7.2%	非公開	非公開	既存	非公開
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	1.5%	C <sub>15</sub> H <sub>24</sub> O	(9)-1805	既存	128-37-0
カプリル・カプリン酸トリグリセライド	1.8%	C <sub>10</sub> H <sub>20</sub> O <sub>2</sub> · xC <sub>8</sub> H <sub>16</sub> O <sub>2</sub> · xC <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub>	(2)-669	既存	65381-09-1
エチレン・プロピレン共重合体	56.6%	(C <sub>3</sub> H <sub>6</sub> ·C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> ) <sub>x</sub>	(6)-10	既存	106565-43-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール（政令番号：1-232）（10%未満）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で皮膚を速やかに洗浄すること。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

直ちに、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、一般の泡消火剤。

大火災：水噴霧、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

棒状注水。

燃えるが、容易に発火するものはない。

熱で容器が爆発するおそれがある。

吸入すると有害となるおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法	<p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。          消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。          消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。          安全弁から音が発生したり、容器が変色したりしたときは直ちに避難する。          火災に巻き込まれた容器から常に離れる。          空気式呼吸器 ( S C B A ) を着用する。          防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。</p>
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。          直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。          関係者以外は近づけない。          風上に留まる。          作業者は適切な保護具 ( 8. ばく露防止及び保護措置の項を参照 ) を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。          適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。          低地から離れる。          漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。          立ち入る前に、密閉された場所を換気する。          河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。          環境中に放出してはならない。          排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。          危険でなければ漏れを止める。          漏洩物を吸込み又は掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。</p>
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法・機材	
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	
技術的対策	『 8. ばく露防止及び保護措置 』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	<p>火気注意。          眼、皮膚又は衣類に付けないこと。          接触、吸入又は飲み込まないこと。          空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。          取扱い後は手をよく洗うこと。          汚染された作業衣は作業場から出さないこと。          環境への放出を避けること。          『 10. 安定性及び反応性 』を参照。          この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。          取扱い後はよく手を洗うこと。          汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
接触回避 衛生対策	
保管	
安全な保管条件	<p>保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。          酸化剤から離して保管する。</p>

安全な容器包装材料 施錠して保管すること。  
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2018年版)	ACGIH (2017年版)
イソチオシアン酸アリル	未設定	未設定	未設定
パラフィンワックス	未設定	未設定	未設定
変性ロジンエステル	未設定	未設定	未設定
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	未設定	未設定	TWA 2mg/m3 (IFV)
カプリル・カプリン酸トリグリセライド	未設定	未設定	未設定
エチレン・プロピレン共重合体	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

保護具

粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。  
送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器又は防じんフィルター付き有機ガス用防毒マスクを着用すること。  
手の保護具 保護手袋を着用すること。  
眼の保護具 化学物質用保護手袋を着用すること。  
必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。  
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)  
皮膚及び身体の保護具 保護衣、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	固体
	形状	成型品
	色	データなし
臭い		特異臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体・気体)		難燃性
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に不溶
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性  
 化学的安定性  
 危険有害反応可能性

イソチオシアン酸アリルは水や湿気と徐々に反応する。  
 通常の保管および取扱いの条件においては安定である  
 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重  
 合は起こらない。

避けるべき条件  
 混触危険物質  
 危険有害な分解生成物

火花、炎、その他発火源、裸火、熱。  
 強酸化剤。  
 熱分解又は燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒  
 素酸化物、硫黄酸化物を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

成分の急性毒性値は、イソチオシアン酸アリル 339  
 mg/kg、パラフィンワックス > 5000mg/kg、2, 6 - ジ - ター  
 シャリ - プチル - 4 - クレゾール > 2930 mg/kg、カプリル・カ  
 プリン酸トリグリセライド > 10000mg/kgであり、混合物の急  
 性毒性推定値が500.37mg/kgのため、GHS:区分4「飲み込  
 むと有害」に該当する。(混合物の58.01% (エチレン・プロピ  
 レン共重合体(58.01%))は毒性が未知の成分からなる。)

経皮

成分の急性毒性値は、イソチオシアン酸アリル 88  
 mg/kg、パラフィンワックス > 2000mg/kg、2, 6 - ジ - ター  
 シャリ - プチル - 4 - クレゾール > 2000mg/kgであり、混合  
 物の急性毒性推定値が130.05mg/kgのため、GHS: 区分2  
 「皮膚に接触すると生命に危険」に該当する。(混合物の  
 59.01% (カプリル・カプリン酸トリグリセライド(1%)、エチレ  
 ン・プロピレン共重合体(58.01%))は毒性が未知の成分から  
 なる。)

吸入(蒸気)

皮膚腐食性/刺激性

データ不足のため分類できない。  
 イソチオシアン酸アリルが区分2で、区分2の成分濃度の  
 合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺  
 激」に該当する。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性  
 呼吸器感受性  
 皮膚感受性

データ不足のため分類できない。  
 データがなく分類できない。  
 イソチオシアン酸アリルが区分1で濃度限界(1.0%)以上  
 のため、GHS:区分1「アレルギー性皮膚反応を起こすお  
 それ」に該当する。

生殖細胞変異原性  
 発がん性  
 生殖毒性  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
 特定標的臓器毒性(反復ばく  
 露)

データがなく分類できない。  
 データがなく分類できない。  
 データ不足のため分類できない。  
 データ不足のため分類できない。  
 成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分2の成分はイソ  
 チオシアン酸アリル(肝臓、腎臓、膀胱)であるため、  
 GHS:区分2(肝臓、腎臓、膀胱)「長期にわたる又は反復  
 ばく露による肝臓、腎臓、膀胱の障害のおそれ」に該当  
 する。

誤えん有害性

データがなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)

イソチオシアン酸アリル、2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾールが区分1で、区分1の成分濃度X毒性乗率の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分1「水生生物に非常に強い毒性」に該当する。(本混合物の成分58.01%(エチレン・プロピレン共重合体(58.01%))については水生環境有害性が不明である。)

水生環境有害性 長期(慢性)

イソチオシアン酸アリル、2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾールが区分1で、区分1の成分濃度X毒性乗率の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分1「長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性」に該当する。(本混合物の成分58.01%(エチレン・プロピレン共重合体(58.01%))については水生環境有害性が不明である。)

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information by Sea  
Regulatory Information by Air

Not dangerous goods

Not dangerous goods

国内規制

陸上規制  
海上規制情報  
航空規制情報

非該当  
非危険物  
非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール)

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)(2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール)

1 6. その他の情報

連絡先

株式会社ヴァレオジャパン

## 参考文献

NITE GHS分類公表データ  
RTECS  
ECHA C&L Inventory Database  
ECHA Registered substances Database  
国際化学物質安全性カード(ICSC)  
Valeo Japan Co.,Ltd 'Wasabi d' air' SDS(作成年月日:  
2019年8月8日)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

労働安全衛生法に基づくラベル表示及びSDS交付義務対象物質 (令和5年8月30日現在 667物質(群))

令和4年2月24日公布、令和6年4月1日施行\_ラベル表示・SDS交付の義務化対象物質リスト

令和7年4月1日施行&令和8年4月1日施行\_ラベル表示・SDS交付の義務化対象物質リスト

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。